

会 師 医 市 牧 小 苦

師 医

朝 松 夏 江

血

尿

血尿とは尿水に血液(赤血球)混入することをいうが、通常、肉眼で赤色を呈し、識別可能な肉眼的血尿と、顕微鏡によりはじめて確認される顕微鏡的血尿に分類される。

後者は人間ドックなどの健康診断で、偶然発見されることが多い。いずれの血尿にしろ、その存在は腎臓からぼうこう、尿道までの尿路への出血を生ずる

定期的な検査で経過観察

何らかの病気があることを意味しており、泌尿器科疾患のもっとも重要な症状のひとつである。

ただ、あくまでも採尿が正しく行われたことが前提となる。つまり新鮮で汚染されていない尿を検査する必要がある。特に女性では、尿道周辺を清潔にし、排尿初期の尿で尿道を流したあとの尿を一部採取する、いわゆ

る中間尿で検査を求めるときである。帯下や性器出血のある場合、当然尿は血液に汚染されると考えなければならぬ。

血尿の原因となる病気として炎症、結石、しゅようがあげられる。一般に若い女性ではぼうこう炎、じんうじん炎などの炎症。若い男性ではじん結石、尿管結石など結石が原因となることが多く、高齢者ではしゅよう

性の疾患が多い。前二者が腹痛、排尿痛、排尿困難などの固有の症状を伴うのに対し、血尿以外にまったく自覚症状のない、いわゆる無症候性血尿にしゅよう性疾患が多く、成人の無症候性血尿の一〇%近くに尿路がんが認められた報告もある。

特に肉眼的血尿の場合、悪性しゅようの出現率はさらに高くなり、出血に対する処置のため

にも早急な泌尿器科的治療が必要となる。

血尿の中には種々の検査を行っても原因の見つからないものもある。この中には糸球体疾患などの内科的じん疾患も含まれているが、これらは良性の経過をとることが多い。ただ、とくに成人の場合、最初の検査で診断がつかなくても、後に悪性しゅようなどの泌尿器科疾患が明らかになる例も時にはある。検査などの検査を定期的に行い、経過観察がすすめられる。

